31. 研修プログラムの名称及び概要（令和６年度）

※令和５年度プログラムも別途御提出ください。

プログラム番号：031127151

病院施設番号：031127　　臨床研修病院の名称：旭川赤十字病院

臨床研修病院群番号：0311271　　臨床研修病院群名：旭川赤十字病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	旭川赤十字病院初期臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色	初期の研修においてすべての研修医が、全人的で科学的根拠に基づいた医療を実践し、プライマリー・ケアを中心に医師として必要な基本的診療能力を身に付け、人格を涵養することを目的としている。この目的を達成するために幅広い範囲を必修とし、さらに自由な選択をも可能とすることで様々な基本的能力をより効率的に身に付けられるように企画している
3. 臨床研修の目標の概要	厚生労働省より提示された「臨床研修の到達目標」に準拠した研修目標を策定、2 年間のローテーション研修で達成できるようプランニングされている。1 年目は必修研修科目と選択科目、2 年目は必修研修科目と選択科目を研修する
４．研修期間	（　２　）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 専門研修プログラム基幹型（内科・救急科・総合診療科）

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊　同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。

＊　研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。

＊　選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例）　ｘｘ科		1234567	○○　病院	○週	○週
必修科目・分野	内科	031127	旭川赤十字病院	24 週	2 週
	救急部門	031127	旭川赤十字病院	12 週	
	地域医療	031148 032430 090006 034831 030923 034868 034875 032091 034840	置戸赤十字病院 小清水赤十字病院 清水赤十字病院 北海道立羽幌病院 留萌市立病院 松前町立松前病院 健康会くにもと病院 利尻島国保中央病院 礼文町国保船泊診療所	4 週	一般外来　2 週 在宅診療　1 週
	外科	031127	旭川赤十字病院	4 週	1 週
	小児科	031127 030026 030025 030914 031088	旭川赤十字病院 旭川医科大学病院 旭川厚生病院 北見赤十字病院 釧路赤十字病院	4 週	2 週
	産婦人科	030026 030025 030024 030914 031088 030029	旭川医科大学病院 旭川厚生病院 市立旭川病院 北見赤十字病院 釧路赤十字病院 名寄市立総合病院	4 週	

	精神科	030018 031144 030024 030914 030029	札幌医科大学附属病院 旭川圭泉会病院 市立旭川病院 北見赤十字病院 名寄市立総合病院	4 週	
	一般外来	ー	ー	ー週	
選択科目	全診療科	031127	旭川赤十字病院	48 週	2 週
	全診療科	030018	札幌医科大学附属病院	4 週	週
	全診療科	030010	北海道大学病院	4 週	週
	小児科	030026 030025 030914 031088	旭川医科大学病院 旭川厚生病院 北見赤十字病院 釧路赤十字病院	4 週	1 週
	心臓血管外科等（小児）	034864	北海道立子ども総合医療・療育センター	4 週	週
	産婦人科	030026 030025 030024 030914 031088 030029	旭川医科大学病院 旭川厚生病院 市立旭川病院 北見赤十字病院 釧路赤十字病院 名寄市立総合病院	4 週	週
	精神科	031144 030024 030914 030029	旭川圭泉会病院 市立旭川病院 北見赤十字病院 名寄市立総合病院	4 週	週
	内科	041001 030026	慶友会吉田病院 旭川ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院	4 週	週
	救急科	030111	前橋赤十字病院	8 週	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 56 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

1. 必修科目

内科（24 週以上）、救急部門（12 週以上）、地域医療（4 週以上）、外科（4 週以上）、小児科（4 週以上）、産婦人科（4 週以上）、精神科（4 週以上）

(1) 内科

研修期間は 1 年次に 24 週以上とし、研修管理委員会と調整のうえ、次のうち 3 科を原則 8 週以上ずつ研修する

（消化器内科、血液･腫瘍内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病･内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科）

※一般外来研修を併せて行う。

(2) 救急部門

救急研修は、1 年次に 8 週以上、2 年次に 4 週以上それぞれ行う。研修の 4 週以上は、手術室における麻酔管理を通して、救急に必要な基本手技・呼吸・循環管理の技術を身に付ける

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数を 20 回（4 週分）とする

(3) 地域医療

地域医療研修は、2 年次に 4 週以上行う

※一般外来研修・在宅医療研修を併せて行う

(4)外科

外科の研修を4週以上行う

※一般外来研修を併せて行う

(5)小児科

小児科の研修を4週以上行う

※小児科の研修は、基本として当院で行うが、事情により協力型病院で行うことがある

※一般外来研修を併せて行う

(6)産婦人科

産婦人科の研修を4週以上行う

※産婦人科の研修は、協力型病院で行う（分娩取り扱いが中止となったため）

(7)精神科

精神科の研修を4週以上行う

※精神科の研修は、協力型病院で行う（精神科休止中のため）

(8)一般外来研修（4週以上）

1年次に行う内科・外科・小児科研修時に行う　※外科・小児科研修は2年次に実施する場合もある

2年次に行う地域医療研修時に行う

研修期間の不足分については、選択研修期間に研修を行う（並行研修）

※総合診療科（院内呼称）また慶友会吉田病院、旭川リハビリテーション病院の一般内科で一般外来研修を行う

（9）在宅医療研修

2年次に行う地域医療研修で行う

但し、到達目標に達しなかった場合は、旭川赤十字訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝで行う

2.選択科目

1年次および2年次に、次の診療科から1から5科を選択し、合計48週研修（最大）する

消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿･内分泌内科、腎臓内科、血液･腫瘍内科、

脳神経内科、外科、救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、脳神経外科、心臓血管外科、

整形外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、病理診断科、放射線科

救急科(前橋赤十字病院)、心臓血管外科等（小児）（北海道立子ども総合医療・療育センター）

精神科（札幌医科大学附属病院、旭川圭泉会病院、市立旭川病院、北見赤十字病院、名寄市立総合病院）

※選択科目での産婦人科研修は旭川赤十字病院でも行うことができる（但しお産の取り扱いはなし）

希望者には、旭川医科大学病院、旭川厚生病院、市立旭川病院、北見赤十字病院、釧路赤十字病院、名寄市立総合病院において4週の産婦人科研修を受けうることができる

※小児科の研修は基本として旭川赤十字病院で行うが、事情により協力病院で行うことがある

※希望者には、前橋赤十字病院において、8週以上の救急研修を受けることができる

※希望者には、札幌医科大学附属病院、旭川圭泉会病院、市立旭川病院、北見赤十字病院、名寄市立総合病院において、4週間の精神科研修を受けることができる

※希望者（2年次）には北海道立子ども総合医療・療育センターにおいて、心臓血管外科（小児）、循環器内科（小児）、小児集中治療科の研修を4週以上受けることができる（希望により新生児・麻酔科・消化器外科・脳外科・整形外科・耳鼻咽喉科（いずれも小児）の研修も可能である。

※希望者には、北海道大学病院において4週の研修（逆たすき）、札幌医科大学附属病院において4週～8週の研修（全診療科より選択）を受けることができる

※1年次の終了前に、研修到達目標の達成状況をﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ責任者が評価し、必要に応じて2年次の選択研修期間に研修を行う

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 031127	臨床研修病院の名称： 旭川赤十字病院
	臨床研修病院群番号： 0311271	臨床研修病院群名： 旭川赤十字病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号 031127151

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				13～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
凡例　○×病院（○×○×○×）	内科	5																																																			
凡例　▲■病院（▲■▲■▲■）	外科			3																																																	
凡例　△□病院（△□△□△□）	外科										3																																										
旭川赤十字病院（031127）	内科	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	7	7	7	7	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7	7	7	4	4	4	4	2	2	2	2	7	7	7	7	6	6	6	6	2	2	2	2
旭川赤十字病院（031127）	外科									1	1	1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2					2	2	2	2				
旭川赤十字病院（031127）	小児科	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1	1	1					2	2	2	2									2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1								
旭川医科大学病院（030026）	小児科																																																				
旭川厚生病院（030025）	小児科																																																				
北見赤十字病院（030914）	小児科																									1	1	1	1					1	1	1	1																
釧路赤十字病院（031088）	小児科																																																				
旭川医科大学病院（030026）	産婦																																					1	1	1	1									1	1	1	1
旭川厚生病院（030025）	産婦																																																				
市立旭川病院（030024）	産婦																																																	1	1	1	1

| | | |

旭川圭泉会病院 （031144）	選択												
名寄市立総合病院 （030029）	選択												
慶友会吉田病院 （041001）	選択												
旭川ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 （034855）	選択												

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 031127	臨床研修病院の名称: 旭川赤十字病院
	臨床研修病院群番号： 0311271	臨床研修病院群名： 旭川赤十字病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号 031127151

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				11～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
旭川赤十字病院（031127）	内科	3	3	3	3	5	5	5	5	6	6	6	6	5	5	5	5	6	6	6	6	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7	7	7	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5
旭川赤十字病院（031127）	外科																																																				
旭川赤十字病院（031127）	小児科																																																				
旭川医科大学病院（030026）	小児科																																																				
旭川厚生病院（030025）	小児科																																																				
北見赤十字病院（030914）	小児科																																																				
釧路赤十字病院（031088）	小児科																																																				
旭川医科大学病院（030026）	産婦					1	1	1	1	1	1	1	1													1	1	1	1																								
旭川厚生病院（030025）	産婦																	1	1	1	1													1	1	1	1																
市立旭川病院（030024）	産婦																																																				
北見赤十字病院（030914）	産婦																																																				
釧路赤十字病院（031088）	産婦									1	1	1	1					1	1	1	1	1	1	1	1																												
名寄市立総合病院（030029）	産婦																																																				

| | | |

旭川医科大学病院 （030026）	選択													
旭川厚生病院 （030025）	選択													
市立旭川病院 （030024）	選択													
北見赤十字病院 （030914）	選択													
釧路赤十字病院 （031088）	選択													
名寄市立総合病院 （030029）	選択													
前橋赤十字病院 （030111）	選択													
旭川圭泉会病院 （031144）	選択													
慶友会吉田病院 （041001）	選択													
旭川ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 （034855）	選択													
北海道立子ども総合医療・療育センター （　　）	選択													

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。